

# シルバー高島

発行／(社)高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010



藤樹の里あどがわ

花いっぱい運動

安曇川支所ではボランティア活動に取り組んでいます。

## 高島市シルバー人材センター

## 事業活性化計画

去る九月二十一日、平成十九年度第三回理事会において、高島市シルバー人材センター事業活性化計画が承認されました。その内容をお知らせ致します。

### 1 活性化計画の目的

滋賀県シルバー人材センター事業活性化計画基本方針に基づき、高島市シルバー人材センター事業の活性化を図るために、高齢年齢における就業意欲の多様化への対応や就業機会の確保提供など魅力有る地域に根ざした事業の展開を図るとともに、会員の獲得や各種事業の取り組みを強化し、高齢者の健康と生きがいの充実・推進するための計画目標を掲げて、シルバー人材センター事業の発展と拡充に資することを目的とする。

### 2 活性化計画の事業方針

当市において魅力あるシルバー人材センター事業の創出のための方針として、以下の事業方針をもとに計画を推進する。

#### (1) 環境問題に対するシルバー人材センター事業展開

環境汚染、破壊を低減することは重要な課題であり課題である。シルバー人材センターとして廃棄

物の減少、資源のリサイクル等に取り組み、環境整備と美化活動を行い就業機会の創出や活性化をはかる。

#### (2) 子育て支援、次世代育成への事業拡大

高齢者の経験と知識を活かして地域に密着した事業活動を行っているシルバー人材センターとして、地域の子育て支援や、児童の安全確保、学童保育への支援など、次世代育成のための事業拡大、創出を目指す。

#### (3) 自己実現のできる、やりがいのある就業機会づくり

高齢者の豊かな経験と培ってきた技能を活かし、就業により地域社会に役立つ事の自覚をもって、自己実現と生きがいを充足できる就業機会の拡大と創出を目指す。

#### (4) 地域に根ざした事業活動の創出

経験と技能を活かして高島市の特徴ある地場産業の振興に寄与するとともに、地域の伝統や産物を活かした事業活動の創出を目指す。

#### (5) 会員の参画による運営機能の充実と強化

運営の基本は会員の総意と参画にあり、創意工夫を結集して組織の強化と充実を目指す。

3 計画の対象期間

この活性化計画の対象期間は、平成十九年度（二〇〇七年度）から平成二二年度（二〇一〇年度）までの四年間とする。

4 活性化計画の具体的目標

(1) 会員数の目標

会員数の目標については、全国目標である平成十七年度末会員数の一・三倍とする。

●各年度目標会員数

平成19年度末	525人
平成20年度末	560人
平成21年度末	610人
平成22年度末	660人

(2) 就業機会の目標

就業機会の提供については、一般労働者派遣事業による就業を含んだ数値とし、目標を設定する。

① 契約金額の目標

平成十七年度一六三、九八八、一六五円を基礎とし、平成二二年度末目標金額を二二三、二〇〇、〇〇〇円とする。

② 就業率

就業率については、当シルバー人材センターでは常に八十%を維持しているため、現状を維持することを目標とする。

5 シルバー事業のイメージアップに向けた目標

(1) 環境問題に対するシルバー人材センター事業展開

① 環境負荷の低減、資源循環事業  
・ 剪定枝葉チップ化事業  
・ チップの堆肥化事業の実施  
・ 自転車リサイクル事業

② 環境美化活動

・ 「シルバー環境美化の日」のボランティア活動の実施

(2) 子育て支援、次世代育成への事業拡大

・ 地域の子育て支援と児童の安全確保  
・ 学童保育への支援  
・ 子ども見守り隊のシルバー参加活動

・ 子育て世代の親子とシルバー会員のふれあい交流会の実施

(3) 自己実現のできる、やりがいのある就業機会づくり

・ 会員の活動による新規就業分野の開拓  
・ 独自事業の開拓と拡大

・ 情報の提供によるシルバー組織の活性化と強化  
・ 職群班、地域班の機能強化と活性化  
・ 指定管理者制度を受け入れるための会員によるプロジェクトチームの構築

(4) 地域に根ざした事業活動の創出

・ 経験と技能を活かして地場産業の振興に寄与

6 その他事業

・ 地域の文化や特産物を活かした事業展開  
・ シルバーフェア等による地域住民との交流事業  
・ 会員のアイデアによる直産品を創出し道の駅に積極的参画を図る

(5) 会員の参画による運営機能の充実と強化

・ 生きがいと、やりがいのあるシルバー人材センターの事業活動内容を情報提供し会員獲得の実施  
・ 職群班、地域班の就業活動と拡大を図るため班長等のリーダー養成  
・ 会員の経験と技能を活かせる就業機会の創出

(1) 安全就業の徹底

平成十九年度を事故ゼロ元年と位置づけ、傷害・賠償の撲滅を図る。  
・ 安全・適正就業推進員等の研修会を年二回開催  
・ 安全・適正就業パトロールの強化

・ 安全就業・交通安全の意識高揚を図る大会実施

(2) 広報・周知の強化

・ シルバー人材センターの事業運営内容を会員並びに一般住民に周知するための広報誌を年四回発行  
・ 市の防災無線を通じてシルバー事業の周知

7 運営基盤の強化に向けた目標

・ 市広報誌への掲載に行政と連携を図りシルバー事業内容のPR

(1) 事業評価制度の導入と活用

(2) 特定公益増進法人制度の活用

(3) 行政機関への要請および要望活動

指定管理者制度導入に伴う、公共事業発注の減少に対応するため地方自治法による特例措置（随意契約）等の積極的活用を軸に公共発注の要望を行うと共に、本活性化計画の目標達成を確かなものとするため、行政機関への支援を要請する。

(4) 会員への技能付与の充実

● 就業等適正資格審査会が設置されました ●

シルバー人材センターに就業等適正資格審査会が設置され、この会の的確な運営を図るための規程もできました。

この会は、会員の就業等が常に良好な環境の基に実施されることを検討し、その対策を推進することが設置の主たる目的であります。

シルバー人材センターは、長年の経験と知識と技能を持った者が集まって、自主・自立・共働・共助の理念を基に自らの生きがいと地域社会に貢献するという組織であります。この基本が失われることのないよう、また、失われる事態が起きた場合の対応策を明らかにしているものであります。

また、審査会規程には、目的・構成・所掌事項・付則が規定されています。

会員数

9月末現在

支所名	男	女	合計
安曇川	65	46	111
マキノ	58	12	70
今津	66	26	92
朽木	19	11	30
本部(高島)	49	23	72
新旭	90	50	140
	347	168	515

新入会員のお知らせ

19年7月～9月までの入会者(敬称略)

氏名	支所名	地区名	氏名	支所名	地区名
水口 常夫	マキノ	南	川島 信子	新旭	旭
水谷 芳純	マキノ	南	守永 豊	新旭	饗庭
東條 則子	今津	南	橋本 清治	新旭	饗庭
斉藤 博教	本部(高島)	高島第2班	松代 輝雄	新旭	安・北
側島道之助	本部(高島)	高島第2班	河原 久子	新旭	安・北

秋の交通安全講習会  
開催される

秋の全国交通安全運動にあわせ、県警本部交通安全企画課、高島警察署と湖西自動車教習所は共同で、高齢者の事故防止のための講習会「交通安全故にあわない、あわせない交通安全教室」を開催されました。

私たちシルバー会員は就業で車を使用することが多いので、理事、安全委員を通じて参加を呼びかけました。気候も良くなり、とても忙しい時期でありましたが、四十名の会員さんに参加して頂きました。

今井交通課長からは、シートベルトで多くの命が救われるようになりましたが、正しくつけないと事故のとき内臓や肋骨をいためます。またこれから陽が傾くと見にくくなり夕方からの事故が多くなります。運転者は早めの点灯、歩行者は反射材をつけるようお願いがありました。



県警本部交通安全企画課ふれあいチームの婦警さんは、寸劇で高齢者の事故防止を面白く分かりやすく話されました。座学の後は

死角確認→



↓内輪差確認



自動車教習所の特設コースで、急制動(三十km/四十kmで急ブレーキをかけ制動距離をみる)回避行動(三十kmで走行し、指示に従い急ハンドルで障害物を回避する)を行い各自の反射神経や運転能力を自覚させられました。また大型トラックを使用した内輪差、車の運転席で現れる死角部分を体験し、車の持つ危険性を改めて自覚し、謙虚なゆとりを持った運転の大切さを再認識させられました。

九月二十五日現在での滋賀県の交通事故死亡者数は五十八名、そのうち二十四名が六十五歳以上の高齢者です。

身を守る  
明るい服と 反射材  
ドアしめて  
ベルトをしめて 気をしめて

安全就業の標語

たくさん応募頂きましてありがとうございます。今回一人一句ずつご紹介させて頂きます。

- 決めたこと 守る気持ちが 事故防ぐ  
早藤 隆生
- 職人技 作業の前に まず安全  
若林 勇
- 安全と 思った心に もうひと呼吸  
西村 貞子
- 忘れるな ヒヤリハツとの 恐ろしさ  
円水正之佑
- 常識を 守る心に 事故はなし  
平井 禮子
- 声かけて シルバー仲間の 事故は無し  
山川 敏朗
- 手を抜くな 慣れた作業に 多い事故  
小島 玉枝
- その格好 この現場では 不適合  
平井 弘美
- 安全は 我が身を守る 命綱  
有田 邦雄
- 経験の うぬぼれが 事故のもと  
押井 光子
- 二度とおこすな 忘れるな  
冷や汗流したあの動作  
中井 義治
- 生きがいは みどりの帽子 かぶること  
松田香代子
- 事故無しで 笑顔で すこそうこの一年  
竹内 昂

**お仕事を依頼される方、  
入会を希望される方は、  
下記の事業所へご連絡下さい**

◎本部

所在地 勝野1365番地  
☎0740-36-8191  
(高島老人福祉センター内)

◎マキノ支所

所在地 マキノ町蛭口1371番地  
☎0740-27-1910  
(マキノ老人福祉センター内)

◎今津支所

所在地 今津町弘川204番地1  
☎0740-22-9055  
(今津老人福祉センター内)

◎朽木支所

所在地 朽木市場676番地  
☎0740-38-2607  
(社会福祉協議会朽木支所内)

◎安曇川支所

所在地 安曇川町田中459番地  
☎0740-32-2957  
(社会福祉協議会安曇川支所内)

◎新旭支所

所在地 新旭町旭734番地2  
☎0740-25-8258  
(ほおじろ荘内)



シルバー人材センターでは、  
高齢者にふさわしい仕事を家  
庭・企業・公共団体から引き受  
けて元気に働いています。掃  
除、除草、草刈り、植木の手入  
れ、大工仕事、ペンキ塗り、剪  
定、毛筆筆耕、障子・ふすま張  
り、モップ掃除などです。会員  
の加入を募集しています。

**会員を  
募集  
して  
いま  
す**

**会員の作業状況** こんな事もしています



刃物研ぎ



剪定



犬の散歩

シルバーの  
緑の帽子は  
皆仲間



かぶの間びき作業



マキノピックランド草刈り



遺跡発掘作業



体験学習のお手伝い

**【平成19年度 SP講習 第1種 草刈機の操作講習日程】**

	10月22日(月)	10月23日(火)	10月24日(水)	10月25日(木)	10月26日(金)
開講式	実技 草刈機の操作	実技/草刈機に よる除草作業	実技/草刈機に よる除草作業	講義/芝刈り機 の安全操作	実技/芝刈り機 による除草作業
講義/ 安全作業基準	実技 草刈機の操作	実技/草刈機に よる除草作業	実技/ 芝刈り機の操作	実技/ 芝刈り機の保守	
講義/ 安全作業基準	実技/草刈機に よる除草作業	実技/ 草刈機の保守	実技/芝刈り機 による除草作業	閉講式	

- 対象者：55歳以上68歳までの高島市在住の方
- 定員：30名(定員を超えるときは抽選により決定します。)
- 受講料：無料
- 講習日時：10月22日から10月26日 13:00~17:00
- 講習場所：高島市新旭町旭734-2 ほおじろ荘
- 申込方法：電話でお申込み下さい。
- 申込先：〒520-1121 滋賀県高島市勝野1365  
(社)高島市シルバー人材センター ☎36-8191

**SP講習会  
参加者募集!**

**元気人  
シルバーに集合!**

再チャレンジ支援!  
高齢者人材の育成・活用  
を目的とした活動です。

**シルバー人材センターは  
あなたの元気を募集中!**

# 互助会便り

会員の親睦と相互扶助ならびにセンターの発展に寄与する事を目的に、互助会では人と人とのふれあいを求めて活動しております。

第一回グランドゴルフ大会は、七月二十五日に安曇川町健康の森運動公園で九十三名が参加され、天候にも恵まれ楽しく盛大に行われ



れました。

一位は今津町の片山隆三さん、二位は新旭町の桑原喜代司さん、三位は新旭町の清水征一さんでした。おめでとうございます。

第二回グランドゴルフ大会は十月二十六日(金)安曇川町健康の森運動公園で計画しています。参加案内は別紙で致します。多数のご参加をお待ちしております。

また日帰りバス旅行は、十二月の中頃に計画しています。決まり次第ご案内いたします。お楽しみに！

## 会員の広場

シリーズ 私の健康法

「継続は力なり」



マキノ町 高木新一 (85才)

私は昔から云われて居る、腹八分目医者いらすの諺を信じて日常生活を行って居ます。少年期の後期に、よく食べ過ぎて胃を壊して苦しんだ事がありました。やがて軍隊に入らなければならぬのに、これではだめだと食事の定量を決める事に思い切って踏切りました。食べられるの

に辛抱する事は本当に辛い事でした。お陰を以って適齢期迄に胃の状態を決める事が出来、三年六ヶ月の軍隊生活も病気一つせず復員する事が出来ました。内科の病気はないのですが、二十年程前から朝食はソフトパン、牛乳、果物で過ごして居ます。米を作って居ながら不合理と思いつた、健康で居られる要素かと思いなかなか切換えられません。朝は定時起床、ラジオ体操、背首肩の運動等、終戦後一日も休まず続けて居ます。若い頃は過激な体操もしましたが、現在はラジオ体操を数分しています。朝起きて身体が一寸変だなど思っても元に戻ります。農地も僅かなので子どもの就職期(昭和四十五年)頃は、当地では働く所もなく交通の便も悪く仕方なく大津へ出たので、自分で管理しなければなりません。これが、これも一つの健康と老化防止につながって居るのかと思っ居ます。若い頃からじっとして居るのが嫌いな方で、動きすぎか最近背が丸くなった感じ。足も弱ってくる頃です、転倒して怪我をしない様心掛けて居ます。



## 支所だより

### 安曇川支所

川越正美

安曇川支所の事務局員として一年六ヶ月が過ぎました。会員の皆様にはこの間、いろいろご迷惑ご心配をおかけしましたが、最近少しは慣れてきたかなと感じる今日この頃です。

「会員の方とふれあって」というテーマですが、私の場合ふれあいの場というのは「就業報告書」です。この夏は例年にない猛暑：お盆までにとり草刈、除草、せんてい、お盆に一番忙しいというレストラン等々。皆様フル回転して下さいました。本当にお疲れ様でした。特にお盆は女の人にとって一番忙しい時期なのに、八月十四、十五、十六、十七日と多くの方が就業して下さいました。提出された就業報告書に目を通して改めてその時の大変さに胸が熱くなりました。たった一枚の用紙ですが、なんて重く感じるのか――。

この様に会員の皆様から多くの感動とエネルギーをいただいています。若さとは顔ではない心だといった詩人がいます。まさにシルバリーの方は若さを持っておられます。これからも良き人生の先輩でいて下さい。

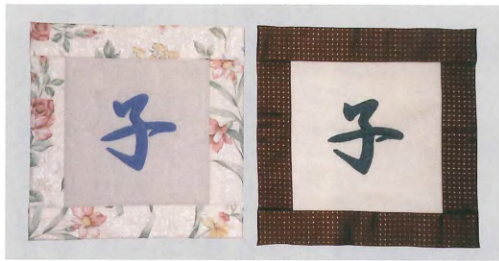
【支所掲載はアイウエオ順】

(独自事業)

手芸部会より

SP事業(第二種)の従来の研修内容がなくなりました。

そこで、独自事業部会の手芸部会では、手芸教室を最初に計画いたしました。今回委員の希望もあり、左記の作品を皆さんで作成しようと思ひます。経費は実費負担となりません。作品は、来年の干支の、子年のパッチワーク(写真)です。希望されます方は、十月中に本部又は支所へお申し込み下さい。出来上がり現物見本は、本部にありますのでお越し下さい。



参加者で用意いただく物は下記のとおりです。

- 1. 額縁になる部分の生地 35cm×10cmを4枚
- 2. 裏生地 35cm×35cmを1枚
- 3. その他材料代 600円

実施日などは、後日申込者に連絡いたします。

皆さんで秋のひとときを、手芸でお楽しみ頂けたらと思います。

ボランティア活動のお知らせ

環境美化の日

毎年10月第3水曜日は「シルバー環境美化の日」です。今年は10月17日水曜日です。実施場所は下記の予定です。

- 安曇川町 …… 安曇川駅周辺
- マキノ町 …… マキノ公園周辺
- 今津町 …… 琵琶湖岸・周遊基地周辺
- 朽木 …… 道の駅周辺・河川敷の清掃
- 高島 …… 琵琶湖岸 萩の浜水泳場
- 新旭町 …… 琵琶湖岸源氏浜と新旭駅周辺



詳しくは、別紙でお知らせいたします。ご協力よろしくお願いいたします。

俳句

- ・ 稲穂垂れ片手でそつと重さみる
- ・ 朝日あび豊かな稲穂に露ふくむ
- ・ 稲刈りの後に群がる白いサギ

歌人シルバー

- ・ 読みかけの書物ひもとく長き夜
- ・ 秋灯の古きアルバムかえり見る
- ・ 蟋蟀の囀り部屋にはい出せり

進士 良治

新入職員紹介

本部業務担当 武田由香利



四月より事務局でお世話になっております。右も左もわからぬまま飛び込んでから、早いもので半年が過ぎました。当初、センター業務の手広さ奥深さに、果たして私に勤まるものかと途方に暮れておりましたが、皆様の一つひとつ教えを頂きながら、何とか今日までやって参りました。

一日も早く、一人前に委員の皆様のお手伝いができるように励んで参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

原稿募集!

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なども結構です。「広報役員・支所・本部へお届け下さい。」お待ちしております。

又、シリーズ的に委員皆さんの「私の健康法」と題して掲載させていただきます。皆さんのいろいろな健康法を教えてください。今回作品をお寄せ頂きました皆様、本当にありがとうございます。

編集後記

最高齢者の高木さんに健康法を伺いました。「継続は力なり」：本当に頭の下がる思いでいっぱいです。皆さんも今年の酷暑、どんな風に乗れ越えられましたか? 屋内外を問わず、汗びっしょりの就労でしたか。夏のお疲れが出ませんようにお気を付けください。秋の交通安全運動の行事として、高齢者の交通安全教室に参加していただきました。車の運転能力再認識のいい機会になったと思ひます。

当センターの今後の指針、事業の活性化計画など具体的な内容を掲載しました。

「シルバー高島」はシルバー人材センターの今を、できるだけ詳細にお知らせしたく、老骨にムチを打ってあります。皆さんの声をお聞かせください。 広報部会